

32

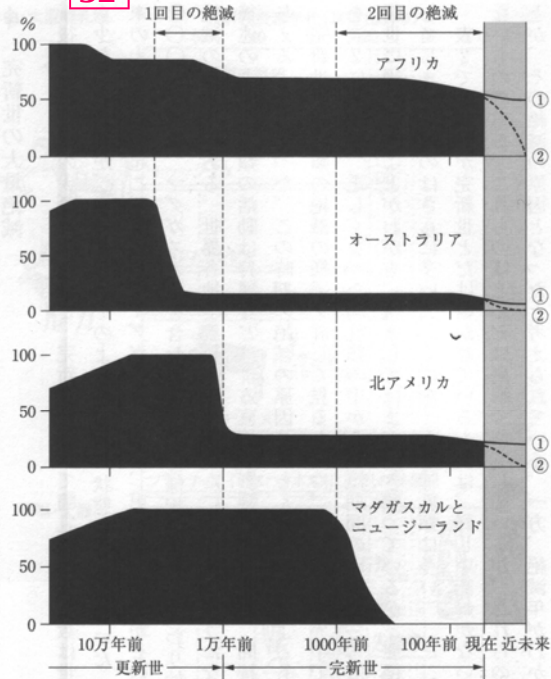


図6 第四紀末の大型哺乳類の絶滅のパターン（一部に大型鳥類などを含む）と今後はどうなるのかというシナリオ（①と②）（Martin, 1984の図を一部加筆修正）
右端が現在と近未来。①より良いシナリオ（実線）、②最悪のシナリオ（点線）。ニュージーランドには土着の大型哺乳類がいないので、そこでは大型鳥類のデータが用いられている。「地球史が語る近未来の環境」

35

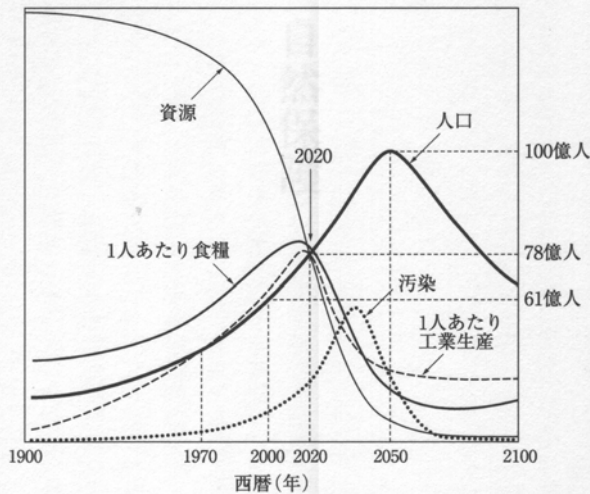


図1 ローマクラブが予測する成長の限界 2020年「成長の限界がやってくる」（メドウズほか、1972による）

33

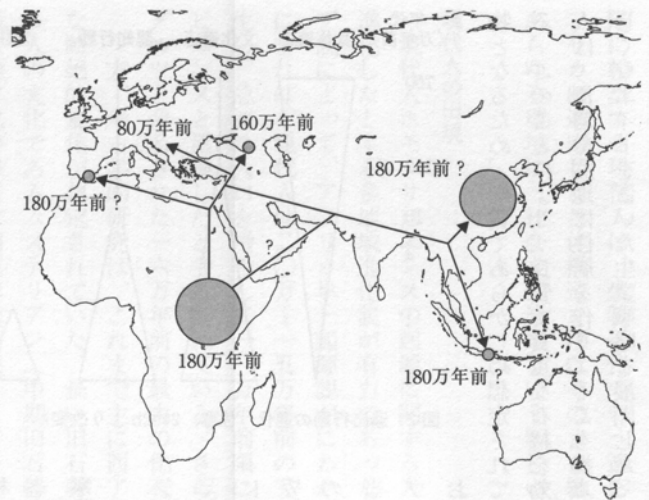


図1 ホモ・エレクトスの出アフリカ（木村、2001）

「地球史が語る近未来の環境」

34

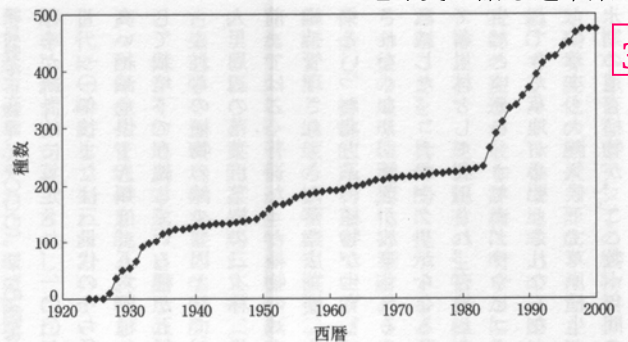


図8 千葉県における帰化植物（逸出植物を含む）の種数の増加（天野、2003）
千葉県で記録されている維管束植物2073種（うち29種は現在では千葉県から絶滅）のうち、外国から運ばれて日本に野生化した帰化植物（栽培植物が野生化した逸出植物を含む）は474種（23%）にのぼる。千葉県立中央博物館に所蔵されている約16万点の標本から、これらの帰化植物が千葉県で初めて記録された年代をもとに作成された。

「地球史が語る近未来の環境」

36

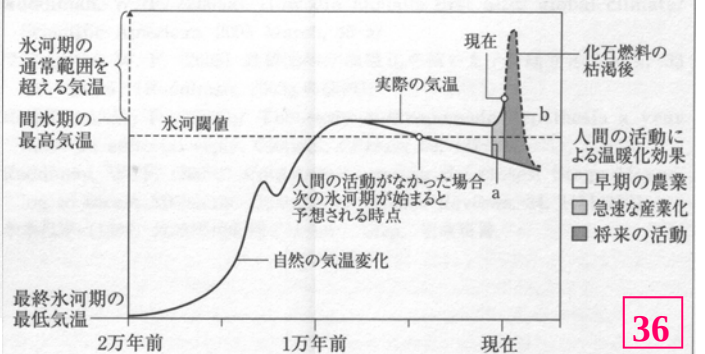


図1 地球の気候の将来像（ラディマンの予測）（ラディマン、2005）

8000年前から始まった農耕が 0.8°C の気温上昇をもたらした（実際の気温）、自然の気温変化ならすでに始まっているはずの氷河期の到来を遅らせている。産業革命以後の温暖化a (0.6°C)と将来の温暖化b終了後には氷河期の寒冷期になる。